

第 10 回ワーキンググループ議事録

0227

日時 2014 年 2 月 6 日（木）食文化室 19：05～21：30

参加者 都築徳紀、靱山勝人、山田美代子、山田亮、青山恵、伊東江利子、浦川正、
（順不同） 大島令子、加藤裕美、川上實、近藤均

〔世話人会〕 生田創、佐藤雄亮、島田善規、広中省子、山崎沙知（順不同） 16 名

メンバー 30：ちょっと時間を過ぎてしまいましたが、第 10 回WGを開催したいと思います。

寒い中ありがとうございました。今日はメンバー 15 さんが欠席ということで連絡をいただいています。今回のWGの資料の確認です。あらかじめ送付させていただいた封筒の中身そのままになりますが、両面 2 枚でホッチキス止めのWGの報告書の概要版の案と、WGの概要版ではない報告書の案が 1 冊と、WGの報告書に付随する一番分厚い資料集と、個人提言書についての提案とお願いというものと、あと最後に、前回の議事録とアンケートになっています。何か不足しているものはなかったでしょうか。あと、今日は記録のカメラが入っていますので、よろしくお願いします。これから今日のテーマである報告書について進めていきたいと思いますが、今日の進行についてメンバー 20 さんからお願いします。

メンバー 20：今日意見をいよいよまとめていただくという会になります。今日どういうふうに意見をまとめるかというまとめ方について提案させていただきたいのですが、3 通りのまとめ方をしたいと思います。報告書案というものをご覧いただきたいのですが、これが本文になりますが、第 4 章 23 ページ、これは私たちの提言ということで、合意して、次の提言をするというふうに書いてあります。ですから、皆さんに合意していただく。ここに市民とありますから、職員の方はどうしようかなと思うんですけども、市民の方は皆さん一致して、こういう提言をします、という書き方になっていますので、第 4 章については、基本的には全員一致でいきたい。もしこれちょっと意見が違うよ、と。ここの書き方こういうふうに直した方が良いというのがあれば、こう直したらどうだという提案をいただいて、提案を含めて全員で一致したい。端的にいうと、1 人でも反対の方がいらっしゃったら、それは採択しない、というふうにしたいと思います。第 4 章以外は、皆さんの意見を整理したものと考えています。ここに書かれたことと違う意見があれば、例えばこういうふうにしたらどうかとか、こういう意見が抜けているとかあれば、意見を追加して、並べて追加していくというふうに修正をしていきたい。ですから、第 4 章以外は、多数決で決める性格ではないと思います。皆さんの意見で内容を豊かにしていくものです。それが 2 つ目。3 つ目は、全体を通じてこういうふうに書いてあるけれども、反対はしなかったが、実はこう思うとか、あるいは意見が並列されているけれども私はこう強調したいとか、そういう意見が残ったものについては、それを個人提言書という形で記録していきたい。23 ページの下の方に書いてあるんですけど

も、個人でこういう意見が残っているんだというものは、報告書に準ずる重みがある、ということで、資料集の方に載せていきたい。個人の責任で書く物ですから、ここで良いとか悪いとかいうことは議論せずに、そのまま載っていく形にしたい。もう1度繰り返しますが、第4章は、全員で合意したい。第4章以外の本文については皆さんの意見で内容を豊かにしていきたい。それでも残った皆さんのご意見については、個人提言書という形で残していきたい。そういうふうに3通りに分けて意見をまとめていきたいと思います。いかがでしょうか。

メンバー12：すごく時間をかけてやってきたのですね。運営の仕方から、市民優先制度に至るまで。

メンバー30：個人提言書は資料集の第2章につけようと思っています。

メンバー12：個人提言書がなぜ必要かなと疑問に思います。今日の資料を読ませていただいて、思いました。最初WGが始まった時よりも、職員以外のメンバーが随分減りましたよね。それは報告書の中にもはっきりと書いてあって、正直にまとめてくださって。今回まで参加してきた人というのは、思い切りこの場で意見を言ったし、議事録も自分の発言に対しては修正してきているし、アンケートの中でも補足できているので、個人提言というものに対しての必要性というものが、最後まとめる段階で何で必要なんだろうって疑問があったので、お世話人の方に伺いたいなと思ったんです。その理由は、前回の第9回の時に、私たちの提言ということで3本の柱をまとめましたので、やっとな富士山の裾野から議論が始まって、頂上に登頂できるわけですので、必要性を問いたいと思います。

メンバー20：ちょっと説明が不足したんですが、全員必ず出してくださいという意味ではなくて、メンバー12さんの言うように十分議論は尽くしたと、本文にすべて自分の言いたかったことも載っているとすれば、出す必要はありません。ただ、もし今日議論した上で、第4章こういう書き方がしてありますが、反対まではしないけれどもちょっとニュアンスが違うわと、例えばそういう気持ちが残った。ずらずらと書いてあるけれども、私は特にこの部分を強調したいというところがあれば、そこは心残りがあってはいけないので、その発表の機会をつくりましょう、という意味です。極端な話、全く出ないかもしれない。でもそういう意見が残っていれば、発表の機会を保障したい。

メンバー12：分かります。しかしこの資料集には議事録など全て載っているし、ここで発言されたことやアンケートは全て載っているの、敢えて、第2章に個人提言書というものが必要なのかな、ということなんです。そのうえでも今日議論して、やっぱり必要だとしたら、一番最後に載せた方がいいんじゃないかなと思います。

メンバー14：これってもし1人も出なかったら外しちゃってもいいんだよね。

メンバー20：1人も出なかった時には、こういう段取りでやりましたけれども、誰もご発言がなかったということで、皆さんご賛同いただいたという経過を2、3行ペーパーに書いておしまい、という形になります。

メンバー14：なければそれでちゃんちゃんということだね。

メンバー20：メンバー12さん、最後に、必要かどうか皆さんに確認してということによろしい

ですか。

メンバー12：はい。

メンバー34：これというのは、WG全体の説明から始まって、市民優先まで言っていることと認識していいんですか。

メンバー20：章立てのご質問ですか。

メンバー34：章立てではなくて、これはWGとして話し合った中の、市民優先予約制度だけのことでなくて、WGのそのものも含まれているということによろしいですか。

メンバー20：そういうことです。

メンバー34：じゃあそうすると私が分からないのが、2ページ目のWhyのなぜは、これなのか、という疑問。結果これについて話し合うことになったけれども、最初なぜWGが始まったのかという意味のWhyでは。私は利用希望の偏り問題を防ぐという認識でWGで参加したわけではないので、結果そのことにはなったけれども、これをみると一応全体の、WG自体のことを説明するのであれば、このWhyは適切であるのかどうか、私は気になった。

メンバー20：ご指摘のとおりですね。どうしましょう。

メンバー34：あともう1つ別なんですけれども、

メンバー20：ちょっとごめんなさい、メンバー34さん。進め方についていいですか、発言の途中で遮っちゃったんですが、いいですか。先ほどの説明が不十分ですみません。今日第4章について先に議論していき、一番重要なところだと思うので。それについてまず議論していただいて、残った時間、時間は残したい。他の章をお話しし合ってもらおうということでどうでしょう。2ページから入ったのですが。

メンバー34：私はここが適切なものになるのであれば、どうでもいいです。ここで議論しなくても、本当のWhyに適切に書き換わるのであればいいので。

メンバー14：メンバー34さんはここがどういうふうになったらいいと思いますか。例えば。

メンバー34：これが何かっていうのは忘れちゃった。違うということだけは分かる。文化の家について考えるために始まったとか、そういうことではないですか。決して利用希望の偏り問題を議論するために集まったわけではないのは確か。もしそうであるならば、私が間違っているということだが。

メンバー20：いや、間違ってるんじゃない。このWhyがはっきりしたのは第7回ですから。第1回から6回までは何を話してるんだろうね、とか、何を話したらいいんだろうね、という中で、だんだん煮詰まってきて、第7回でこれがはっきりしたということなので、第1回から第6回までを含めた表現としては狭いのではないかという指摘ですね。

メンバー34：はい、そういうことです。

メンバー20：私も今良い表現が思い浮かばないんですけれども、ご指摘の通りだと思います。

メンバー12：運営委員としては、そもそもこのWGは市民優先予約制度に対して議論し、議論に対して結論をまとめるという認識です。

メンバー34：でも運営委員でない私たちとしては、そのことは知らされず、裏のテーマとして潜ませながらずっとあった。なので、裏テーマを表に出すのではなくて、表向き

の顔を出すべきだと思う。あくまでも、そういうふうには表には出してない。市民優先予約制度のために集めたわけではないじゃないですか。それが裏のテーマだということは何回か出れば分かりますけど。そうであってほしくないと思っているので、あくまでも市民優先予約制度は、話し合うべき問題の箇条書きの中の1つだというふうで7回目以降進めていると思うので。

メンバー21：私も同じ意見で、優先枠の経緯については、これは一応、機会があるので出たから、なりゆきで決めたテーマですから、ここに結論的なタイトルがついてですね、施設利用と市民優先予約制度についてという大きなタイトルまでついて、ここにWGの結論があること。この辺が何か釈然としない。これはおっしゃるとおり1つの論点であって、全体の重要な要素ではない。

メンバー20：今の提案は、表紙のサブタイトルがいらないうご提案ですか。

メンバー21：削除というより、認識が私と皆さんでどうずれているんだろうという話でして、そこまで強い意志はもっていない。ただ釈然としない。WGは文化の家でいろんな問題を話し合おうという場のはずだが。

メンバー14：今のメンバー34さんが言われたようなことを、最後の個人提言書の方に書かれるか、

メンバー34：個人提言書は市民優先予約制度についてさらなる意見がある場合で、

メンバー14：いや、これがそうだと思うんですよ。

メンバー34：違う。

メンバー14：それをきれいにまとめようと思うとこうなっちゃうんですけど、今言われたのを直しちゃってもいいと思うんですよ。

メンバー34：個人提言書というのは、市民優先予約制度に対する提言をするということではないのか。全体に対してもなのか。

メンバー20：それを含めます。

メンバー34：これは提言ではなくて、違うと思うから直してくださいというもので、提言ではない。ついでに言うと、この表書きは、私はこれで良いと思う。ただ、経緯については、こういう経緯で市民優先予約制度について話すことになったということがはっきりすれば良い。良い文言があれば良いのだけれど。

メンバー20：例えば、このWhyのところの書き方を今どういうふうにすればいいか分かりませんが、文化の家でいろんな問題が起きているためと、いうふうに皆さんそういう表現の方がいいねとなって、文化の家でいろんな問題が起きているためと変えたとしますね。でも、どなたかが元の原案の方がクリアで良いじゃないと、と思われる方がいるかもしれない。それは皆さん大方の方がいろんな問題についてということと賛成されたけれど、私は釈然としないなあと思うところがあるという方は、個人提言書で出してください。ここで、一言一句を変えないというつもりは全くないです。ただ、書き換えるのではなくできれば意見を追加していくという形で直していきたいと思っています。

メンバー34：私が言っていることは個人提言に入るの？

メンバー20：いいえ、違います。だから、皆さんメンバー34さんの意見にご賛同で、Whyの

ところの書き方を変えた方がいいと、大方の方がそういうご意見なら、そういうふうに直せば良いと思います。ただ、できれば、直すのではなく、意見を追加していった方が私は良いと思います。個人提言書というのは、大方の人は賛成したけれども、私はもっとクリアな方がいいという方がいらっしゃったら、個人提言書で出せばいいと。

メンバー34：個人提言書ってそういう…。ここの書き方がちょっと気になるわということまで書くのか。

メンバー20：書いてもいいし、そんなことまで書く必要はないと言う人は出さなければいい。

メンバー34：それはアンケートでは？

メンバー20：アンケートではない。アンケートは無記名で、どなたの発言か分からないようになっています。ですが、個人提言書は記名でやらせていただきたいな、と。

メンバー34：ちょっと時間をもらってもいいですか。このWhyがこのままで良いと思う方、これじゃなきゃいけないと思う方、挙手をお願いします。

メンバー20：いきなり採決しますか。

メンバー34：個人個人やってたら時間かかるだけじゃないですか。これ最後の会議でしょう。そういうことはみんないる内に聞いとかなないと。

メンバー17：Whatのところも変わってきますよね。

メンバー34：当然、そういうことだと思います。

メンバー17：であれば、Whereのところが場所じゃなくて、人が本質というか、本来のWGの議論すべき大きな話しだったと思うんですけども、あまりにも時間と日程に限りがあったので、そんなにかけてやるのか、ということになり、1年でやるんだったら、市民優先予約制度という課題があったので、これだったら結論出せるよね、と。大きな話は2年か3年かけて、職員と市民とで議論していったらどうだと、言う話だったという記憶がある。今の話であれば、あまり決め過ぎてはいけないと思いつつも、報告書としてストーリー立てて結果出すためには、メンバー20さんがいろいろ経験されているので、こういう結論だから、こういうストーリーが分かりやすく、市長とか職員のトップの方に受ける・分かりやすいんだろうなと考えているという気持ちも良く分かるんですが、メンバー34さんの気持ちもわかる。ちょっと決め打ちしすぎかなという気持ちと、もう少し、文化の家の今後のあり方をどうするんだと、そういう視点も少しニュアンスを入れていただけないか、とメンバー21さんもおっしゃったんですが、最初からこのWGは市民優先予約制度についての狭い話について結論を出す場、というのも違和感があるし、あとちょっと話は変わるんですが、提言書ってあるんですが、僕も必要ないんじゃないかなとグループでまとめあげるんで、急に個人提言書というのは、気持ちは分かるんですが、ちょっと違うかなと。市民優先予約制度についてだったら提言書を入れることも良いと思うけど。

メンバー34：その通りだと思うんですが、1ページ目の部分で、たぶん私の感覚だと、Whatの部分では文化の家のよりよい何とかとかを考える、文化の家の施設について、とか。個々の場面では私の感覚だと市民優先予約制度とか具体的なものは出てこな

いと思う。出てくるのは流れとして、話し合ってきた中でこういうテーマに決まりました、こういう報告書を出します、ということだと思うんですよ。面倒なので無しでもいいかとも思いますが、どうしてもWhenとか書きたいなら、WGという大きなものについての枠組みで書いて、WGはこういうものですよ、と説明すべき。

メンバー20：まあそれがはっきりしないまま6回やったという経過があるわけです。

メンバー14：メンバー34さんはそれがイメージ化されている。言葉でも良いから何か変わるものを書いてくれば、私達も比べやすいんですよ。

メンバー34：一番簡単なのは、1-1（骨子）は無くてもいいのでは。もし考えたものを文字で出せと言われてもすぐ出せないで。間違ったものを出すくらいなら載せない方がというわけです。で、今言葉で言おうと思ったら言葉はやめてくれというので。今文字出せないもん。文字化する力はないので。

メンバー21：1-1はこれから話し合うところで、書きようがないと思う。

メンバー14：でも書きようがない中頑張って書いてくれたんでしょう。何について話すのか決めるのに6回かかったということ。それをそのまま書けば。

メンバー34：文化の家について話し合うという点ではブレていないはず。

メンバー20：当然文化の家について話すわけで、スポーツセンターについて話すわけではないのですが。1-1を削るという意見が出ましたが、皆さんで決めてもらえばいいことです。問題は、目線を外に向けるか、内に向けるかということです。これは読む人が読みやすいようにまとめるのか。あくまで私達の記録である、と目線を中に向けるか。それなら最初は右往左往したことを書くべきだし。

メンバー34：何かポイントがずれてきている。良いと思うんです。ただ、最初にこれが何なのかの大枠が示されるべき。

メンバー21：市民優先予約制度について話し合うために結成された団体だと思われてしまう。

メンバー27：メンバー34さんのご指摘されたことは、私も常々思っていて、経緯というところで、割と忠実に書いたつもりです。

メンバー20：1-5に書いてあります。

メンバー27：確かにここは言わるとそうだな、と思いました。だからこのところ、私がこれは最初に何も知らないで見たときに、これがあったら分かりやすいかなと思ってスルーしちゃったんですけど、確かにこれのために集まったというわけではないと経緯に書きましたので、これを少し、文化の家でいろいろな問題が起きていて、市民の意見を広く話し合う必要が起きたため、のようなそんな感じに直せばいいですよ。

メンバー34：そうそう、ただそれだけのこと。

メンバー17：書き方が、おそらく問題点の書き方になっている。課題的な書き方にすると、なんていうか具体的ににならないので、あるべき姿のような形で、Whyのところも隔たり問題が起きるためじゃなくて、よりよい市民のホールの使い方はどういう使い方なのか、とか、課題的なあるべきやり方にすれば、

メンバー34：そう、大問題を書くべきで、小テーマは後で出てくればいかと。

メンバー17：唐突すぎるかなと。

メンバー34：WGってこれについて集まったのって言われたら、

メンバー17：こんな泥くさいことしてこんな苦勞して、それで市民優先予約制度に行きついたということがもう少し分かれば。

メンバー12：私も、削除してくれではなくてWhyについては文化の家が15年経って、大規模改修に10億円ほど要するのではないかと、市民優先予約制度がいきなりトップダウンで設けられたりとか…。マスタープランに沿って順調に文化の牽引役をやってきたが、15年目にマスタープランとちょっと違うような問題が出てきた。これからの文化の家の方向が気になったり、文化の家を利用したり文化の家が好きな人ばかりWGのメンバーとして最後まで残っているわけでしょ。

コンパクトにまとめて、書いていって、その1つが市民優先予約制度としてなったということでは…。

メンバー34：削除よりあった方がいいとは思いますが。

メンバー12：今回一番いいなと思ったのは1—5、細かく書いてくださって、飾らずに正直に書いてくださって。市民参加をしなさと言ったってメンバーは普通の市民であり職員ではないからこれほどにもこんなことがあったんですよってまとめて頂いたことに一番感激したんです。まとめてくださって、メンバー20さんとメンバー27さんありがとうございました。行政がやるとなればコンサルが関わり、コンサルへの委託料も200万300万支払うことになるような内容だと思います。これで提言書がまとまったら、何百万もする価値のある提言書を、市民のお世話人と職員からのお世話人とで作ってくださったなと思ったんです。職員はお給料をもらっている。しかし市民はボランティアでやっていることも書いてあったので、何百万もの仕事を本当にありがとうございましたという感じで読ませていただきました。

メンバー30：ここまでこのページについて話をしたので、このままこのページについて議論して話すか、

メンバー20：4章を話しましょう。

メンバー30：では、1章について頭の片隅で文言を考えていただきながら、4章の議論に入りたいと思います。4章は短いので簡単に読み上げます。(報告書案23ページ読み上げ(個人提言書部分を除く。))4章で皆さんの意見としてまとめたいと思っている提言について、何かご意見ございましたらお願いします。

メンバー12：③ですが、実務的な混乱を避けると書いてありますが、前回では、新規受付を休止するということで確認されたとは思ったんですが。目的が実務的な混乱を避けるという提言ではないと思います。

メンバー20：新規受付を休止する、という文言を前に持ってくると。

メンバー12：はい。そうならないと、実務的な混乱を避けるというのは、何の実務的な混乱を避けるのかって。だって3団体しか登録していないし。混乱してないから。

メンバー20：皆さんで直していただければいいので、どうしても原案でいくという意味ではないのですが、一応説明だけすると、新規受付を休止すると、クリアにやるべきことをこういう処置をとりなさいとクリアに言うか、それはちょっと避けるかというところで迷ったところです。ですから、実務的な混乱を避けることができるなら、

別の方法でも良い。というふくらみを持たせたということです。新規受付を休止してとタイトルに持ってくると、そのままズバリの要望になりますよね。

メンバー14：①だってそうだと思います。

メンバー20：4月1日にどっかの団体が出てきたらどうするのか、と。

メンバー14：それも市民だし、私たちも市民だから。ここを止めなくちゃ、と意見が出ましたよね。混乱を避けるためじゃなくて、一重に止めてほしいんだよね。だから前に出してもおかしくない。

メンバー34：混乱を避けるために言うんじゃないで、やめたほうが良いと思うから提言している。はっきりいって実務的に混乱する分には私たちには関係ないので。

メンバー12：職員を外して市民と書いてあるので、なおさらそれで良いと思うんです。市民側の宣言なので。実務的な混乱を避けるというのは、メンバー20さんの優しさ。職員の皆さんに配慮してこういう書き方をしたのかなと思いました。

メンバー20：訂正することに対し、そこまで刺激しなくてもいいんじゃない、というご意見が残っていたら、どうぞ。職員の方も言ってもらってもいいですが。

メンバー27：私の感覚では、前回の時に、あんまりクリアに言わない方がいいんじゃないかという意見が出たような気がしたので、逆に、こういうふうになったのねメンバー20さん、と思ったんですが、ここがこういう意見だったら、普通は新規受付を休止するというふうなので、皆さんさえ良ければそれでいいんじゃないでしょうか。

メンバー20：いいですか。では全員一致で訂正するということで。③新規受付を休止。以下はそのまま。いかがでしょう。皆さん賛成ですね。

メンバー17：メンバー12さんの発言で思ったのが、タイトルのところにWG参加者の合意「私達（市民）の提言」とあるが、この議論って職員の方もいますよね。確かに遠慮がちに参加されていたけれど、私当初いなかったのですが、並列は難しいかもしれないけれど、職員と市民がいろいろざっくばらんな議論をしたことによって出来た提言ですよ、というのを出せたら。

メンバー29：我々は実施した側なので。

メンバー20：黙っていても、職員さんたちはこの責任から逃れられない。とてもつらい立場。文章は、4章以外は2ページや5ページで、主語は職員と市民が並列になっている。4章だけ敢えて（市民）と入れた。私達は責任をかけているということを意識するべき。

メンバー34：テーマが市民優先予約制度ということで、職員と市民と一緒に提言しづらいテーマにたまたまなっただけ。

メンバー14：あとは、個人提言書をここに入れるか、ということですね。

メンバー20：それは今日の最後に皆さんに聞きたいと思います。

メンバー30：他にはよろしかったでしょうか。無いようでしたら、4章はこの内容で。では、提言はこれで決定ということで、4章以外のところについて、先ほどの2ページの議論に戻って、

メンバー20：他のところを先にしましょう。

メンバー30：では、広くどの部分でもよろしいですので、お気づきのことがありましたらお

願います。

メンバー 21：さっきの話に戻りますけれど、これ（報告書案）だけ別冊になってますよね。目立ちすぎるかと。流れからいくと、市民優先予約制度はWGの活動の中の1つであって、これだけ別冊だとこのためにWGをやったのではないかという最初の話に戻る。

メンバー 20：資料集も一緒に綴じるということですか。

メンバー 21：これだけ別扱いしない。これだけやったわけじゃないですよ。

メンバー 27：まだ1つ目の問題を話したただけなので、たまたま。

メンバー 20：ちょっと説明だけさせていただきますと、全体の綴じ方の話と、報告書案のサブタイトルの話の2つあると思うのですが、綴じ方は概要版も全て一緒に綴じて使うこともあるだろうし、別々かもしれないし、概要版だけかもしれない。それは綴じ方の話です。サブタイトルの話ですが、皆さんで決めていただければいいです、テーマを5つ決めていただいて、その1つのテーマを今回は話合ったのでこういうサブタイトルを付けた。そのために集まったんじゃない、という皆さんのご意見なら別にこのサブタイトルを削る、のかなと。どちらが分かりやすいかなと。

メンバー 21：今回配られたのが報告書全部ですが。

メンバー 30：分厚いのが資料集で、資料集の本編にあたるのがこの報告書で、

メンバー 21：だから、別に本論があるんですよ。

メンバー 20：24 ページあるのが本編。資料集は137 ページのもの。

メンバー 21：このためにWGやって、そのための資料集がこれですか。

メンバー 20：はい。

メンバー 34：このためにやったというより、1 番目にやったのが市民優先予約制度。時間切れで。

メンバー 21：本編がこれ（報告書案）ということは、これがWGの本編？

一同：現時点の。

メンバー 21：それは第3 者が分かりますか。

メンバー 20：中の経過を見ていただければ。

メンバー 21：資料集は資料なので、それを見なきゃ分からないのはいけない。

メンバー 20：いえ、例えば3 ページ。1 回から5 回まで、経緯が書いてある。第6 回に文化の家のあり方を議論する場と決まったんですね。

メンバー 21：だったらなぜ表紙に市民優先予約制度とあるのか。

メンバー 20：最初にこのテーマについて話し合うことになったからですね。5 つテーマを絞りましたね。そして、施設利用と市民優先予約制度について最初に話し合うことになりましたよね。それをまとめようということなんです。

メンバー 34：メンバー 21 さんの言ってることが分かってないかもしれないけど、たぶん、私は表紙はこれで良いとして、めくったときに、ここに全体のことが書いてあれば、こういうことなんだな、このグループはこういうことなんだなということが分かる、次に流れを見て、その中で、あ、こういうふうなんだと分かればいいと思うので、表紙に市民優先予約制度と書いてあっても良い。だからその代わり、めくったとこ

ろに全体のことを載せてほしいと。

メンバー12: この概要版の冒頭に「はじめに」というページを設けていれてはいかがですか。よく報告書の最初に「はじめに」って市長さんとかの言葉があるでしょう。WGは25年4月から何回も開催されてきましたがこのページはいきなり文章がないので。概要版を見ると、こういうことをやったんだ、こういう議論がなされたんだ、ならばもっと詳しく読んでみよう〜と思うかもしれません。だから「はじめに」っていうところに概要版の言葉で重複しないものを書き込めば今話していることを改善できるのではと思うんです。

メンバー21: 概要版もこれも、施設利用について、市民優先予約制度についてって書いてありますよ。文化の家の使い方利用の仕方ではなくて、施設利用と市民優先予約制度でしょう、書いてあることは。

メンバー20: 施設利用と市民優先予約制度（概要版）と、概要版という位置が良くないということであれば、変えればクリアになると思いますが、

メンバー32: 僕が見て面白かったのは、この次第の紙に、夢探し★発見★実現★って書いてあるんですよ。始めはこういうカラーで始まったんだなど。それと今回の表紙の温度差があるのが1つ原因なのかなと。もうちょっとクリアに出ていると、分かりやすい。

メンバー27: メンバー21さんがおっしゃっているのは、64ページの、何なんだこの会議は、と右往左往していた時に、いろいろ出た。ここら辺も本編に入れた方がいいということでしょうか。

メンバー21: 第3者としてこの報告書を読んだ時に、WGとして報告しようとしているのは施設利用と市民優先予約制度が全てになってしまう。

メンバー20: これがないと、WGで5つのテーマを選んでおきながら、これで終わりという誤解を招きませんか。これこそ、施設利用と市民優先予約制度についてだけしかやらないんですね、ととられませんか。

メンバー34: 見えないけど、①というのがついている。今回の報告書ということ。

メンバー20: そういうニュアンスを出した方がいいんじゃないかと思う。書かないと、まさにこれこそ、市民優先予約制度のためにやったのかと。

メンバー34: メンバー20さんのおっしゃってるのは、これはWGの報告書というより、WGで話し合った中の、市民優先予約制度についての報告書の部分だよと。何年かたまって、これがWGの報告書全部だよと、なった時に、WG大報告書というふうになる。

メンバー21: 僕が言ってるのは、今回WG報告書で最後の方に。つけるべきでは。

メンバー34: 流れはそうですけど、ここに付けた方が、分かりやすい。本当は①というのが見えないけどある。

メンバー21: WGの報告書の中の最後に出来たものですよ。たまたま出てきた。

メンバー27: メンバー21さんのおっしゃってるのは、1回から6回までをカットしないでここに入れた方がいいということですか。

メンバー21: 流れから言うと、WGが市民優先予約制度のためにやったととられたくないということですよ。

メンバー34：第1部にWGの報告書というのがあって、第2部に施設利用と市民優先予約制度というのがあればいいなと。言いたいのはそういうことですよね。

メンバー21：誰に見せようが構わないですが、あまり市役所とかを意識するのはおかしいと思う。

メンバー27：経緯があって、次は施設利用の章ではなく、1回から6回までが入るとのことか。

メンバー21：WGは1回から6回までやってきて、その後に市民優先予約制度が出てきたんですよね。だからこれでは本末転倒。

メンバー20：本末転倒とは私は思わないですが、メンバー21さんがおっしゃってるのは、WG報告書で1と2に分けるということになります。1は第6回までの、テーマを決めるまでの話。2は第7回から第10回のお話をまとめたWG報告書2。一番クリアにするとすれば、報告書を2冊作るということになる。でも技術的な話ですが、そういうまとめ方をするのかなあという気はします。

メンバー21：では、今まで我々がやってきたことは、単なる資料集なのか。

メンバー20：いえいえ、先ほども出てましたが、第1章の5で詳しく書き込まれています。

メンバー21：ならば、せめてタイトルがここにあるのはおかしいと思います。

メンバー34：今回、報告することが市民優先予約制度しかないのであって、私たちが長々話し合ってたこととか、試行錯誤している様子などは別にいらない。報告すべきは市民優先のことしかない。

メンバー32：どこに価値を認めるかどうか。話し合いのためにボランティアで集まったことも大事なことです。

メンバー27：だから、それを1—5で記したつもりである。

メンバー14：さっきメンバー32さんの意見を聞いてふっと思っただけですけども、タイトルをやっぱ変えましょう。文化の家WG報告書はいいです。その下のところ、チラシなどで夢さがし・発見・実現 文化の家市民参画プロジェクトとあるので、そのことを書いて、今までは利用する側だった人間が、夢を探し、実現に向けるために、やってきた。

メンバー20：メンバー14さんのご提案は、サブタイトルを2つつけると。

メンバー14：サブタイトルを、これが、見やすいことは分かる。よくよく考えると、私達夢話しに来たんだよな、とか考えるために来てたはずだから。

メンバー20：メンバー14さんの提案は、夢探し～をサブタイトルにするということですか。サブタイトルを2つつけるとのことですか。

メンバー14：サブタイトルは夢さがし～で、施設利用と市民優先予約制度はその中の①とか。5つの内のその中の1つしかできなかったのは、私達の実力なんだ。慣れてくればスピーディーになるかもしれないが。初心に帰ると。何でここにいるんだろうなと思った時に、頭が整理できて、

メンバー20：では施設利用と市民優先予約制度は①として

メンバー14：どうしても入れたかったら入れて。私はなんで来てるんだろうなと思った時には、市民レベルでいろんなことを発案できるんだと、話し合いが出来るんだという

ことが魅力だったので。裏飾りとか表飾りとか分かんないけれど。自分たちで市民優先枠いらないよね、というのがまず一つの結論。

メンバー34：今のメンバー14さんの言ったことがWhyに入る。

メンバー2：メンバー21さんはここをぱっと見たときに、この1年間でここに見えればいいということですよね。1-2を見ていただくと、経過が書いてあるんですが、WGは文化の家のあり方を議論する場と書いてありますよね。これは一番最初の名目で、議論を進めていくなかで5つのテーマが出てくるという第2段階があって、ということは一番大きなタイトルはWGの目的となるタイトルがあるとするならば、それは文化の家のあり方を考えるっていうテーマがあって、その1番が施設利用と市民優先予約制度。それを2つ併記することによって、見えないかな、と思います。

メンバー21：メンバー14さんがおっしゃったことと同じということですね。

メンバー2：基本的には同じです。

メンバー21：名は体を表す。本来は表紙に夢探し〜と入るべき。市民優先予約制度は最後についでに出たのであって、あたかもこれが目的で集まったように見える。矮小化されてしまう。

メンバー2：WGの今のあり方が見えると良いかなと思います。

メンバー27：本当は、文化の家のWG自体が、夢探し発見実現文化の家市民参画プロジェクト、というのが上。その中にWG、アイデンカフェ、とかがある。だから夢探しはWGの上。

メンバー21：本来、市民優先予約制度をWGで扱うべきかという話もしていた。技術的なテクニックが働いた。

メンバー20：時間も押しているので、今のメンバー27さんの提案を確認します。サブタイトルは、募集の時のフレーズをそのまま持ってくる。夢さがし〜。市民参画プロジェクトは下にあるので、タイトル「文化の家ワーキンググループ報告書」サブタイトルは夢さがし〜でいかがですか。

メンバー14：ちょっと私の言いたかったことと違う。市民参画プロジェクトの中にWGがあり、そこで話し合われた結果出てきたテーマが施設利用と市民優先予約制度。

メンバー21：私が言いたいのは、このWGが問題処理委員会にとられるのが嫌だ。こういった問題があるからここで検討してくれっていう利用のされ方になると思います。

メンバー20：それも1つのあり方ではないでしょうかと思いますが。

メンバー21：要はこれを取り扱って良いんですかという話題が出ましたよね。この問題をやる前に、本来ここは夢を語る場で、問題解決や苦情処理委員会ではないんです。

メンバー27：6回までの間にそのような議論はたくさんされた。私もメンバー34さんもそういうつもりでは参加していなかった。一番最初からメンバー12さんが運営委員会ではと何度も言っていて、議事録を見て初めて知った。右往左往してきて、なおかつ本来新聞記事見たらバシッと書いてあったんですけど、そのためにWGをやるんだと。行政の意図は最初からあったけど、敢えて、広い人達から意見を聞くためにしゃべり場をやったらたくさんの人が来て、とっちらかっちゃって、でも、あれでフラットになった。このために話しに来た人もいれば、そうでもない人がいて、そのフラ

ットな場で出た5つのテーマなので、私は問題処理に最初から集められたとは思わない。ある意味問題が起きた時に市民の意見を聞きましょうという市長の強い思いがあって、それにしたがって行政はこれを設定したわけですから、あくまでこれは市民参画プロジェクトなんです。それが薄すぎただけで。1つしか報告するような内容がないからこうなったけれど、実際に書かれているのはこのことしか書かれていないので、メンバー21さんが拘るのも分かりますが、

メンバー12：そういうことを言うならば、私としては運営委員会で唐突に市民優先制度が文化の家から議題として提出され、この日の会議はこのことだけになった。清水先生にも話がなくなりいきなり決定事項として議題にだされた。それも、12月の運営委員会なのに既に1月の市の広報には既に掲載されることまで準備されていた。そこで清水先生と竹本先生が市長と直接面会してまとまった結論が、所謂市長が出した条件は、市民参画プロジェクトを立ち上げて1年かけて話し合ってくださいということになったのです。ですからこのような経緯を知っているので私は1度か2度は都合がつかず欠席したかもしれませんが毎回WGに参加してきました。また、私はチラシを今初めて知りました。ここは1つ、両方の意見がある程度読み取れるような形になるようにしてはどうでしょうか。

メンバー20：この会の始まりまでさかのぼると大変なので、今出ている案を強引に3つ、細かく言うと4つに分けました。

Aー①：夢さがし★発見★実現★文化の家市民参画プロジェクト文化の家ワーキンググループ報告書

Aー②：夢さがし★発見★実現★文化の家市民参画プロジェクト文化の家ワーキンググループ報告書 ①「施設利用と市民優先予約制度」

B：文化の家ワーキンググループ報告書—文化の家のあり方を議論する場—①「施設利用と市民優先予約制度」

C：文化の家ワーキンググループ報告書

強引に分けましたが、どうでしょうか。

メンバー14：いずれにせよ市民優先予約制度はのるんだね。

メンバー20：いえ、選択肢によります。Aー①とCは載りません。

メンバー21：事務的な話ですね。意味が違うので。

メンバー20：議事進行の提案。世話人会の方では、今年度はこれで開けないかもしれない。やるとしても3月の末にしかできない。できれば今日で大筋は決めたい。あとは、実務的な修正をメールか電話で確認するというふうに進められたらいいなど。しかし、今の提案は、次回もう1回やるというご提案ですか。

メンバー21：全くそういうこと聞いていなかった。

メンバー34：今年度というと3月にしかできないけど、次年度続くことであれば、4月に話してもいいですよ。

メンバー20：報告書は、今年度はまとまらない。

メンバー34：報告書は今日まとめれば良い。

メンバー21：タイトルの話だけです。時間がないということでしたら譲歩しますけれど、

本質論は確認させていただきたい。2つ目。世話人でいろいろ話し合ったということは、そもそも世話人の権限を超えている。

メンバー20：いや、決めたのではなく提案させていただいただけですよ。

メンバー21：世話人が考え方をもっていることがおかしい。皆さんの意見の中でまとめるのが世話人。

メンバー27：たたき台ですから。

メンバー20：世話人会はたたき台も考えちゃいけないんですか。

メンバー21：期限の話ですよ。

メンバー20：期限も含めてですよ。

メンバー34：別に年度考えなければ。

メンバー20：では世話人会は提案はしていいですね。この報告書については今回でまとめて、今後はできれば実務的な文字の修正で済めば。

メンバー21：では報告書はあくまで実務的に決めて、本質論は次回以降に検討するということで。

メンバー34：何の本質？

メンバー21：WGについての本質。

メンバー34：報告書は報告書で良いんですね。

メンバー21：はい。

メンバー17：遊びでやっているわけじゃないんで、

メンバー34：ではタイトル早く決めましょうよ。

メンバー17：年度は入れれないのか。年間の成果物を出したいのならば、年度があった方が。矮小化と言われたのは残念だが。

メンバー20：まず2案に絞りませんか。

<多数決>：1人1回 挙手制 A-①：2、A-②：7、B：5、C：2

<決選>：A-②8：、B：7（1名挙手しない者有り）

メンバー20：A-②では絶対反対という方はいらっしゃいますか。

メンバー34：★がはずかしい。

メンバー12：文化の家のあり方を議論する場という文章がいいなと思ったので。

メンバー17：僕も本来はそっちが良いんだが、固い。

メンバー20：メンバー21さんのご発言じゃないですが、出発点は触れておいた方がいいかなと。

特に強くA-②で嫌だということがなければ、たった1票差ですが、いいですか。

メンバー34：別に★どうこうで意見が覆ると思っていませんから、良いですよ。

メンバー20：チラシ見ると、正式には、★ではなく・だから大丈夫。

メンバー31：正式なのは★があるものです。ロゴとして出してある。

メンバー30：A-②：夢さがし★発見★実現★文化の家市民参画プロジェクト文化の家ワーキンググループ報告書 ①「施設利用と市民優先予約制度」でよろしいでしょうか。

：年度はどうしましょうか。

メンバー17：お任せします。

メンバー20：あまりにも長いのでね。下の部分は、市民参画プロジェクトはとりますか。

メンバー17：施設利用と、の前に年度いれたら良いかもしれない。

メンバー20：長くなるけど

メンバー34：①の替わりに年度を入れては。

メンバー30：夢さがし★発見★実現★文化の家市民参画プロジェクト文化の家ワーキンググループ報告書 平成25年度「施設利用と市民優先予約制度」にしてはどうかという提案をいただきましたが、いかがでしょうか。

メンバー32：年度つけるなら文化の家の前ではないでしょうか。

メンバー20：お任せください、事務局に。

メンバー30：報告書の前に年度をつけるということで。

メンバー20：2ページの先ほど議論が途中で切れた部分ですが、WGの経過を一番前に持ってくる。その後、Whyとかを持ってくる。で、最初に5つのテーマを持ってくる経緯を書きます。その上でここでWhyは、利用の偏り問題となります。ということをお願いできないでしょうか。

メンバー34：5W1Hが全体象ではなく、小さい象になるということか。

メンバー20：そうです。

メンバー12：すると、1-1 骨子というのは、

メンバー20：私はそのつもりで書いたんですが、言葉はできればお任せいただきたいですが、全体の流れが分かるものを書いて、次にここでいう骨子に、タイトルが変わるかもしれませんが、節タイトルが。お任せいただくということで。

メンバー34：概要版の位置が相応しくないのでは。

メンバー20：タイトルが変わりましたので、これも変わります。概要版の位置も反省しています。

メンバー14：これってどこかに載るの？私達が持ってるだけだね。

メンバー20：概要版をお読みいただいて、面白そうだなという人は本編と資料集を呼んでいただく。

メンバー14：どこかに発表するの？私達が見るだけ？

メンバー20：違います。

メンバー14：文章で思ったのが、固いなと思ったんですよ。概要版2- 重い期待を背負ってスタートといのは、ニュアンスが違って、職員も市民も自分たちの立ち位置を模索するところからスタートしました。というふうに、思いということに気が付いていなかったと思う。

メンバー34：重いが重いということですね。

メンバー14：あと、文化の家の利用者が多く、苦情が絶えない。を削って、

メンバー5：利用者ではなく利用

メンバー34：これだと、とりにくい現状より苦情が問題なのか。

メンバー20：苦労ですよ、苦情ではなく。

メンバー14：それから、巨額の負担というのが、市民のための図書館や文化の家なので、巨額というのが、イメージが使ってはいけないのかという印象を受ける。

メンバー20：巨額といって避難をうけていることは事実です。

メンバー14：巨額を無駄にしないための

メンバー34：巨額のイメージは無駄な、というイメージがある。いらない高速道路にたいして巨額な、と言ったりする。

一同：多くの、多額の、相応の、無しでいいのでは。

メンバー20：私益の市民団体があつたとして、巨額という意味はその人たちも多額の財政をつぎ込まれているものを、私益に使うことがどうなのか、というところにかかっている。小額なら使ってもいいですよとならないように。

メンバー27：予算を減らそうと思えば、稼働率が低くなった方が良く。使えば使うほどペイできることはなく、人件費とか電気代とかかかる。だからこそ公共がやる意味がある。

メンバー20：多くの、で。

メンバー30：個人提言書について提案させていただいたのですが、これはどうでしょう。

メンバー20：皆さんたぶん語りきれていないと思うんです。その発言のチャンスを保証するための個人提言書。結果として出るかでないか分からないけれど、機会としては、あるということでしょうか。

メンバー34：もう言う機会終わり？

メンバー20：良いですが、ここの閉館時間が来ている。

メンバー10：閉館はまだ大丈夫

メンバー34：さっきのチラシ（市民参画プロジェクト募集チラシ）も資料集に入れて。議事録の個人が特定できないようにしてください。名簿の番号と一緒に、ずっと番号が固定なので、特定できてしまう。毎回の参加人数で番号をつけてほしい。どうしてもダメなら、第4回WGの議事録の中で、個人が特定できる発言を削ってください。

メンバー20：カットする方にさせてほしい。個人の特定をしようというわけではなく、議論の中で○番の人がどう意見が変わってきたかが分かりたい。または、○番と×番がどういう議論をしたかが分かりたい。

メンバー30：では、個人提言書について、よろしいでしょうか。締め切りは、編集の関係で2月12日までをお願いしたいです。

メンバー34：cobaのチラシも。マスタープラン勉強会チラシも。

メンバー30：では、世話人で修正後、メールや郵便でやりとりをし、今年度はWGをもう開催しない方向でよろしいでしょうか。

メンバー33：一言。お礼を申し上げたいと思います。今日10回で一区切りということで、大変長い時間、毎回長時間、しかも精緻を極めた議論をしていただき、本当にありがとうございました。たった1つしか決められなかったというご意見もありましたが、あの1つは大変大きな問題でした。また、6回までは無駄な議論だと聞こえましたが、プロジェクトの議論に参加していただくということが最も大事な目的でしたので、大変有用な貴重な時間です。改めて、夢さがし発見実現、春から仕切り直しして出発したいと思います。1年間ありがとうございました。

メンバー27：世話人会も仕切り直しもお願いしたい。年度内で世話人を解任していただき、次年度からは新しくならないかなと。

メンバー20：修正作業がありますので、それはやりますので。一応区切りをつけたいです。

メンバー29：尾張旭の市民会館も閉館をする。利用者の意見を聞いて、今後考えていくということも書いてあった。市民や利用者がどうしていくかというのは、皆さんの意見を持ってだと思うので、これからご協力ください。再募集していく。人が減ったりもしたので。その中で、募集するにあたって、テーマとか、こちらで出さないと人が集まらないと思うんです。市民参画の改善を具体化というものがある中、住民企画支援事業を最優先して、住民参加がどうなるべきかを議論しなければと思いますので、文化の家側で考えます。ありがとうございました。

メンバー20：日程的な確認を。

メンバー30：シンポジウムですが、3月末で開催出来ればと考えていたのですが、準備が整わなかったりで、3月は難しくなりました。いつか開催する事になりましたらお知らせしますので、その時はぜひご協力お願いします。今後のスケジュールについて確認をさせていただきたいと思います。2月12日が個人提言書の締め切り。アンケートは書けたら今日まで。帰る人は12日までに。その時まで議事録も送付します。

メンバー20：アンケート、できれば選択式になってるので、なるべくみなさんにお出しいただきたい。今日の修正案を出しますので、今年度全員集まることはないということをお願いしたい。

メンバー30：以上でよろしいですかね。

メンバー29：報告書を提言する場というのがあります。

メンバー33：市長のところに。

メンバー29：日程的には3月にはずれ込むとは思いますが、議会などがあり、もしかしたら年度空けた4月に市長に報告することになるかも。

メンバー21：提出先は市長だけですか。

メンバー29：まずは運営委員会。実現できるか分かりませんが、市民とここまで深く話し合うことは、全国的にも珍しい。どうなるか分からないが、国にも送ればな、と。まあ、実現できるか分かりません。夢実現、ですから。

メンバー21：市民参画プロジェクトかなんかはどうなるんですか。

メンバー34：マスタープランにのってるあれのことでは。

メンバー31：住民参画交流会議

メンバー27：これ（市民参画プロジェクト募集チラシ）は変わらないですか？

メンバー2：いや、変わります。アイデンカフェのってますし。

メンバー20：個人提言書に書きたいと思っているのですが、第5章にある進め方の全体を見直し仕切り直しを行う、この言葉は意味の深い言葉だなあとと思いますが、マスタープランの住民参画交流会議と絡めて考えていただければなと思います。

メンバー33：今日はありがとうございました。